

社会教育にかかわる人材養成研修

対象者別研修

社会教育を推進する具体的方策を学ぶ研修を対象者別に提供します。あわせて、市町村担当者の研修の場を提供します。

対象者別研修	研修名	趣旨 研修内容	期日/会場/講師
	社会教育委員研修 学び・話し・伝える	社会教育委員の役割を確認し、求められる力を学び、具体的な動きや社会教育行政との連携のあり方について考える場とします。	■しまねの社会教育についての説明 ■社会教育委員に求められる力と社会教育行政の役割についての講義 ■社会教育委員としての力を発揮するためにできることについての演習
公民館等職員に必要な事業推進のための専門的知識・技能を学ぶ場とします。		第1回 東部 5/21(火) 西部 5/22(水) 第2回 東部 6/ 7(金) 西部 6/ 5(水) 第3回 東部 6/25(火) 西部 6/28(金) 第4回 東部 9/17(火) 西部 9/13(金) 東部：青少年の家 サン・レイク 西部：いわみーる 第5回 東部・西部合同 10/18(金) 少年自然の家(江津市)	
公民館等職員研修 PDCAサイクルで見つめ直す 公民館事業の実際	■事業を企画・立案し、実践をとおして事業評価を行い、成果と課題を発表する。 [全5回のシリーズ研修] ① これからの公民館に求められる役割と機能について考える ② 実践から公民館事業を見つめ直す ③ 人づくりを意識した公民館事業の全体構想と計画の立案 ④ 公民館事業の評価と効果的なプレゼンテーション ⑤ 実践発表会とふりかえり		
	学校・家庭・地域等との連携・協働を進めていく上で大切なコーディネート上のポイントについて考え、今後の実践に向け意欲を高める場とします。 ■「社会に開かれた教育課程」や、「学校、家庭、地域の連携・協働」についての講義 ■連携・協働のためのコーディネート上のポイントについて考える演習	西部 6/13(木) 浜田合庁 東部 6/14(金) 松江合庁 講師：下関市立大学 准教授 天野かおり	
コーディネーター研修 ともに学ぼう！明日から生かせるコーディネーター	地域づくりに主体的に参画する人づくりに向けて、参加型学習を活用したワークショップや話し合い等を企画・進行できる力を高める場とします。 ■参加型学習の意義や効果的な活用についての理解と、ワークショップの企画・設計とそのファシリテート [全3回シリーズ] ①参加型学習の意義と効果的な活用についての説明・体験、「地域魅力化プログラム」を用いたファシリテート演習 ②設計したワークショップの見直し、ファシリテートの準備 ③「ファシリテート演習」「意見交換」等によるファシリテート力の向上		第1回 東部 7/11(木) 西部 7/12(金) 第2回 東部 8/26(月) 西部 8/27(火) 第3回 東部 9/9(月) 西部 9/3(火) 東部：青少年の家 サン・レイク 西部：いわみーる
	『地域魅力化プログラム』の内容や意義を知り、活用する方法を考える場とします。 ■「地域魅力化プログラム」の体験・意見交換 ■各市町村での「地域魅力化プログラム」の活用方法を考える	東部 5/28(火) 青少年の家 サン・レイク 西部 5/30(木) いわみーる	

全体研修

県内の社会教育関係者全体を対象に研修の場を提供します。

全体研修	研修名	趣旨 研修内容	期日/会場/講師
	しまねの社会教育基礎講座 集って、楽しんで、学んで、動いて、変えていく	しまねの社会教育の基礎的な考え方や実際を知り、社会教育を推進していくために必要なことやできることを学ぶ場とします。	■社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育行政の事業等についての講義 ■社会教育の実践を学ぶ事例発表 ■今後の方向性を話し合う演習 等
県内の社会教育関係者が一堂に会し、実践者の発表をもとに自身の活動を振り返ります。各地域における活動の質の向上、さらに人の輪を広げるための連携のあり方考える場とします。 ■実践発表 ■講師による全体講評・助言 ■県内社会教育実践者の情報交換 等		11/23(土・祝) 青少年の家 サン・レイク 講師：文部科学省 国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ	

社会教育主事講習[B]

社会教育主事の資格付与のための講習です。

社会教育主事講習[B]	講座名	内容	対象	期日・期間
	■「生涯学習概論」(2単位)	文部科学省より委託を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施します。 ※単年での一括受講のほか、年度を越えて科目ごとに分割受講もできます。	社会教育主事講習等規程第2条の各号の1に該当する方 [社会教育関係者等]	1/20(月)～2/27(木)
	■「社会教育計画」(2単位)			
	■「社会教育特講」(3単位)			
■「社会教育演習」(2単位)				

※令和2年度講習より、「社会教育計画」「社会教育特講」に替わり、「生涯学習支援論」「社会教育経営論」が新設されます。

市町村支援

目的

市町村等の社会教育の充実・推進

- ①市町村等における社会教育行政の施策の充実・推進
- ②市町村等の社会教育関係者の人材養成

内容

市町村等の実情に応じた支援

- ①市町村等が主催する社会教育に関する事業・研修・会議等について相談に応じ、助言や情報提供します。
- ②計画・企画の相談に応じ、必要に応じて、講師・ファシリテーター・支援者等の役割を果たします。

サポート例

- 研修計画・研修内容や組み立て方についての相談・助言
- 学習プログラムについての相談・助言
- 「結集！しまねの子育て協働プロジェクト関連研修」の相談・支援
- 親学ファシリテーター養成・スキルアップ研修等の相談・支援
- 「親学プログラム」「親学プログラム2」「地域魅力化プログラム」体験講座の相談・支援
- 社会教育研修センターが持っているノウハウを活かした研修等の相談・支援 etc.

留意点

- 対象は「市町村等」とします。「市町村等」とは、基本的には県内19市町村を示します。ただし、全県的な範囲や教育事務所単位・市町村をまたがる広域的な範囲・市町村内のブロック単位等も含まれます。

社会教育にかかわる調査・研究

調査・研究名	内容
しまね学習支援プログラムの普及	県内の社会教育関係者に活用いただける「親学プログラム」「親学プログラム2」「地域魅力化プログラム」の普及に努めます。
「親学プログラム」「地域魅力化プログラム」に関する調査	「親学プログラム」「親学プログラム2」「地域魅力化プログラム」の活用状況等の調査から、プログラムの効果的な活用方法を把握・整理し、普及・定着につなげます。
公民館等実態調査	公民館等の現状・運営体制・職員の勤務及び研修等の実態について調査し、社会教育関係団体・関係者相互に情報提供することで、社会教育の推進につなげます。
市町村の社会教育にかかわる研修状況調査	市町村で実施される「社会教育にかかわる研修」を調査・把握・整理し、市町村へ情報を提供することで社会教育の推進につなげます。